



平成28年1月29日

各位

上場会社名 株式会社 ショクブン
 代表者 代表取締役社長 川瀬 公
 (コード番号 9969)
 問合せ先責任者 常務取締役総務部長 小川 典秀
 (TEL 052-773-1011)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年10月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,359	209	167	133	11.57
今回修正予想(B)	9,017	132	83	86	8.95
増減額(B-A)	△342	△77	△84	△47	
増減率(%)	△3.7	△36.8	△50.3	△35.3	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	9,126	139	60	△313	△27.12

平成28年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,336	142	180	168	14.54
今回修正予想(B)	8,994	75	103	123	12.81
増減額(B-A)	△342	△67	△77	△45	
増減率(%)	△3.7	△47.2	△42.8	△26.8	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	9,101	63	13	△335	△29.08

修正の理由

(1)連結

売上面におきましては、売上高、受注を増加させるべく販売方法や販売価格の見直しなどの施策を実施してまいりましたが、昨今の経済状況を背景にした諸要因から消費者の節約志向は依然として続いており、当社グループも厳しい環境下に置かれました。

また利益面では、メニュー冊子の構成の見直しや、ガソリン価格の値下り等経費の削減をいたしましたが、その一方で、円安・天候等に伴う一連の食品価格の値上りが続いたことや、それに伴う販売価格の改訂を11月に入ってから実施したこと等により、前回予想を下回る結果が見込まれます。

結果、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益をそれぞれ90億17百万円、1億32百万円、83百万円、86百万円に修正いたします。

(2)個別の業績予想につきましても、連結と同様の理由によりそれぞれ修正いたします。

対策

当社グループは、「原点回帰」を掲げ、全社員の意識改革を行う一方、主力事業である個人客向け宅配システムなどの見直しをしました。また、主力商品である「エコクック」メニューを11月2日に約7%値上げさせていただきました。これらの施策による効果は徐々に現れ始め、当第3四半期連結会計期間では、売上高が25億22百万円(前年は25億57百万円で9.8.6%)、経常利益は1億64百万円(前年は93百万円で177.1%)、同四半期純利益は1億58百万円(前年は89百万円の四半期純損失でしたが、減損損失1億58百万円があったため、対応する前期四半期純利益は68百万円で231.3%)になり、経営状況等は改善の方向へ進んでおります。今後も、引き続き製・販体制の強化に努め、安定した利益を確保できるように努めてまいります。

※ 業績等につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上